

地域・社会



ヤマハ発動機グループの活動拠点は、世界各地に所在し、地域社会の人々に支えられて事業活動を行っています。また、私たちの製品が世界各地の人々に利用され、より豊かな生活に役立つよう願っています。私たちは企業と地域社会との共存共栄を図り、持続可能な関係が重要であるとの認識に立ち、そのためには地域のステークホルダーの皆さまと日常的なコミュニケーションを通じて、信頼関係を維持・向上することが大切であると

考えています。

ヤマハ発動機グループの取り組む社会貢献活動には、「次代を担う人々の育成」「地球環境の保全」「交通安全普及」「地域社会の課題」の4つの重点領域があり、事業を通じて得たさまざまな知見を活かした取り組みを行っています。2012年は、当社グループ会社63社(国内23社、海外40社)が社会貢献活動に参加しました。

社会貢献活動の重点領域

	グローバル課題			ローカル課題
取り組みテーマ	将来を担う人たちの育成	地球環境の保全	交通安全普及	地域社会の課題
活動内容	・スポーツを通じた心身の育成 ・モノ創りを通じた創造性の育成、など	・地域社会への環境教育 ・生物多様性の尊重、など	・社会への交通安全教育 ・啓発活動、など	・当社製品や人材、ノウハウを使った地域支援、など

インドでキッズYRA(ヤマハライディングアカデミー)を開催

自動車・二輪車の急増に対して交通インフラが未整備であるうえに交通安全教育が不十分であると言われているインドでは、子どもたちが交通事故から自分の身を守れるようにとキッズYRAを開催しています。2012年はデリー、ムンバイを中心に44回開催され、3,657名の子どもたちが受講しました。



環境保護のため、世界各地で植林活動

当社グループでは、日本をはじめ各国の現地法人が地元の行政などと協力して、植林活動を行っています。



タイのYETH※1では、2012年5月に209名が参加し、バンコク近郊のシーナコンクエンカン公園内にマングローブの苗木を200本植えました。成長した苗木は、地域の森林保全団体や政府が管理し、環境保護を目的とした植林活動に使用されます。

また、中国のZYS※2では、2012年3月に地元株州市主催の植林活動に若手従業員32名が参加し、クスノキを47本植えました。

※1 YETH: Yamaha Motor Electronics Thailand Co.,Ltd.

※2 ZYS: 株州雅馬哈摩托減震器有限公司

メキシコの「キッサニア」にワークショップの職業体験パビリオン

日本でも子どもたちに人気の職業体験テーマパーク「キッサニア」。その発祥の地メキシコの「キッサニア・クイクルコ」に2012年10月、ヤマハワークショップが誕生しました。これは、幼児期からの交通安全教育によって事故の削減を目指す、世界で初めての交通版キッサニアです。当社の現地法人YMMEX※の協賛によるヤマハワークショップでは、交通安全教育およびミニバイクの運転ライセンスを取得するコースと、実際に工具を使って5項目の整備



を行うコースの2コースを開催しています。オープンから12月までの2カ月半で、バイク整備の職業体験に約15,000名が参加しました。

※YMMEX: Yamaha Motor de Mexico, S.A. de C.V.

海外市場開拓事業部(OMDO)のクリーンウォーター事業

OMDOは開発途上国において、浄水の供給や保健衛生の向上に貢献しています。

セネガルでは、2011年、サンレイ市郊外の村落に、太陽光発電装置と組み合わせたクリーンウォーター装置を贈呈しました。



写真提供:久野真一/JICA

現在は村の住民からなる水管理委員によって運営されていますが、OMDOの活動によって村にきれいな水だけでなく明かりがもたらされ、携帯電話の充電ができるようになったと、住民たちに大変喜ばれています。

また、同じアフリカのモーリタニアでは、2012年12月、草の根無償資金協力により、ジャウリン国立公園に太陽光発電装置と組み合わせたクリーンウォーター装置が設置されました。

一方のアジアでは、2012年、インドネシアのポンティアナック近郊の村落に、グループ会社YIMM※など現地企業20社やNGOと協業して、装置を設置しました。

※PT. Yamaha Indonesia Motor Manufacturing

スナップショット

トップインタビュー

特集

事業の概況

CSR情報

企業情報

財務セクション

グループ従業員のボランティア意識醸成「4万人のV(ボランティア)作戦」

従業員のボランティア意識の啓発と行動を始める“きっかけ作り”として2004年から「4万人のV作戦」を展開しています。従業員が少なくとも年1回はボランティア活動をすることにより、グループ全体で4万人が社会貢献を行うことを目指しており、2012年は延べ件数で40,105件を数え、旗印の「4万人」を5年連続でクリアしました。

2012年の活動事例として、沖縄に美しいサンゴの海を復活させるために、従業員ボランティアメンバーが恩納村漁協の指導のもと、万座毛周辺水域でサンゴ苗の植え付け活動を2010年より開始し3年目を迎えました。また、従業員とOBでつくるボランティアグループ「おもしろエンジン・ラボ」が『子供達に笑顔を!東北応援プロジェクト2012』と題して、2011年に引き続き東日本大震災の被災地、宮城県仙台市と女川町でウィンドカー工作教室を開催、250名以上が参加しました。